

# IFCのインクルーシブ・ビジネス支援

2013年2月13日

寺見 興生

国際金融公社(IFC)

# 世界銀行グループの中で民間向け投融資を担当

国際復興開発銀行  
IBRD  
International Bank  
for Reconstruction  
and Development

設立: 1945年

役割: 制度・法律・規制改革の  
促進

顧客: 一人当たりの国民所得  
が1,025~6,055米ドル  
の加盟国政府

商品  
サービス: - 技術支援  
- 融資  
- 政策助言

国際開発協会  
IDA  
International  
Development  
Association

設立: 1960年

制度・法律・規制改革の  
促進

一人当たりの国民所得  
が1,025米ドル以下の最  
貧国政府

- 技術支援  
- 無利子融資  
- 政策助言

国際金融公社  
IFC  
International  
Finance Corporation

設立: 1956年

民間セクターによる開発の  
促進

加盟国の民間企業(多国籍  
企業、地場企業)

- 出資・準出資投資  
- 長期融資  
- リスクマネジメント  
- アドバイザリー・サービス  
- 130カ国以上で業務展開  
- 100カ国以上に現地オフィ  
スを配置  
- 3600人以上の職員

多数国間投資保証機関  
MIGA  
Multilateral  
Investment and  
Guarantee Agency

設立: 1988年

民間投資における政治  
的(非商業)リスクの軽減

加盟国に本部を置く多国  
籍民間企業

- 政治リスク保険



共通の使命: 途上国の経済開発と貧困削減



# IFCのサービス 3つの柱



## 投融資 サービス

- 投融資
- 貿易金融
- 協調融資
- ストラクチャード・ファイナンス
- リスク管理商品
- 財務業務
- 流動性管理

- FY2012新規契約プロジェクト数: 576件
- 新規契約額: 203億ドル
  - IFC自己勘定額: 154億ドル
  - 資金動員: 49億ドル
- 契約済ポートフォリオ総額: 565億ドル
- 企業数: 1,825社

## アドバイザリー サービス

- 金融へのアクセス
- 投資環境の整備
- 環境・社会面から持続可能な事業
- 官民パートナーシップ

- FY2012プロジェクト件数: 630件
- プロジェクト費用: 2億ドル

## アセット マネジメント

- IFCの100%子会社で、第三者の資本を独立して管理するIFCアセットマネージメント会社

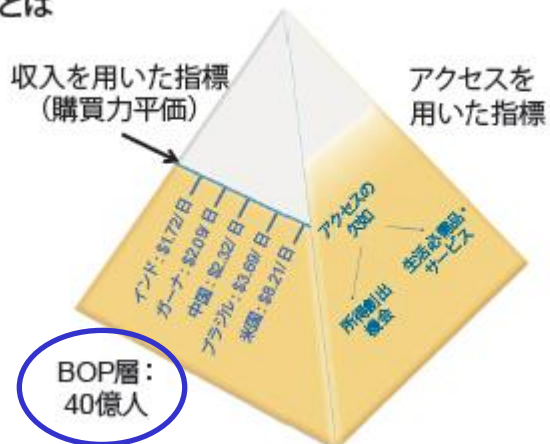
# インクルーシブ・ビジネス・モデルとは、 ビジネスとして成立し、かつ規模を拡大できる事業モデル

- IFCはBOP層を広く定義：  
収入のみならず、基本的な商品やサービス、経済的な機会へのアクセスの欠如も基準として含める
- インクルーシブ・ビジネス・モデルは、  
経済ピラミッドの下層部にいる40億人の人々が抱える様々なアクセスの欠如に対処できる可能性がある

“インクルーシブ・ビジネス・モデル”：  
BOP層を消費者・生産者・流通業者、あるいは小売業者としてバリューチェーンに組み込みながら、ビジネスとして成立し、かつ規模を拡大できる事業モデル

- CSRや慈善事業ではなく、本業として利益を生み出すビジネス
- 投融資対象として、リスクや実行可能性について一定の基準をクリア

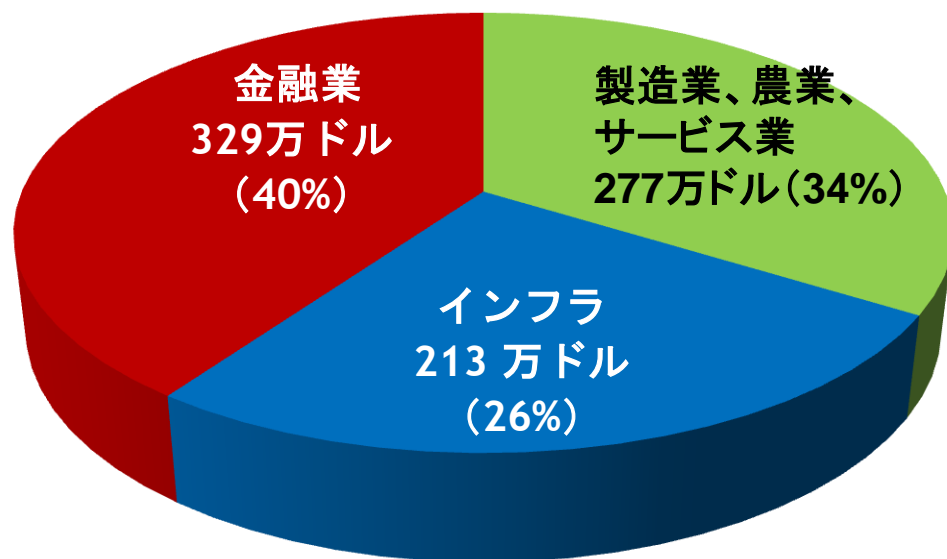
BOP層とは



出典：『次なる40億人 - 経済ピラミッドの底辺の市場規模とビジネス戦略』

# 2005年度からのインクルーシブ・ビジネス案件の 累計投融資額は約60億ドル（約4,650億円）、約200件を支援

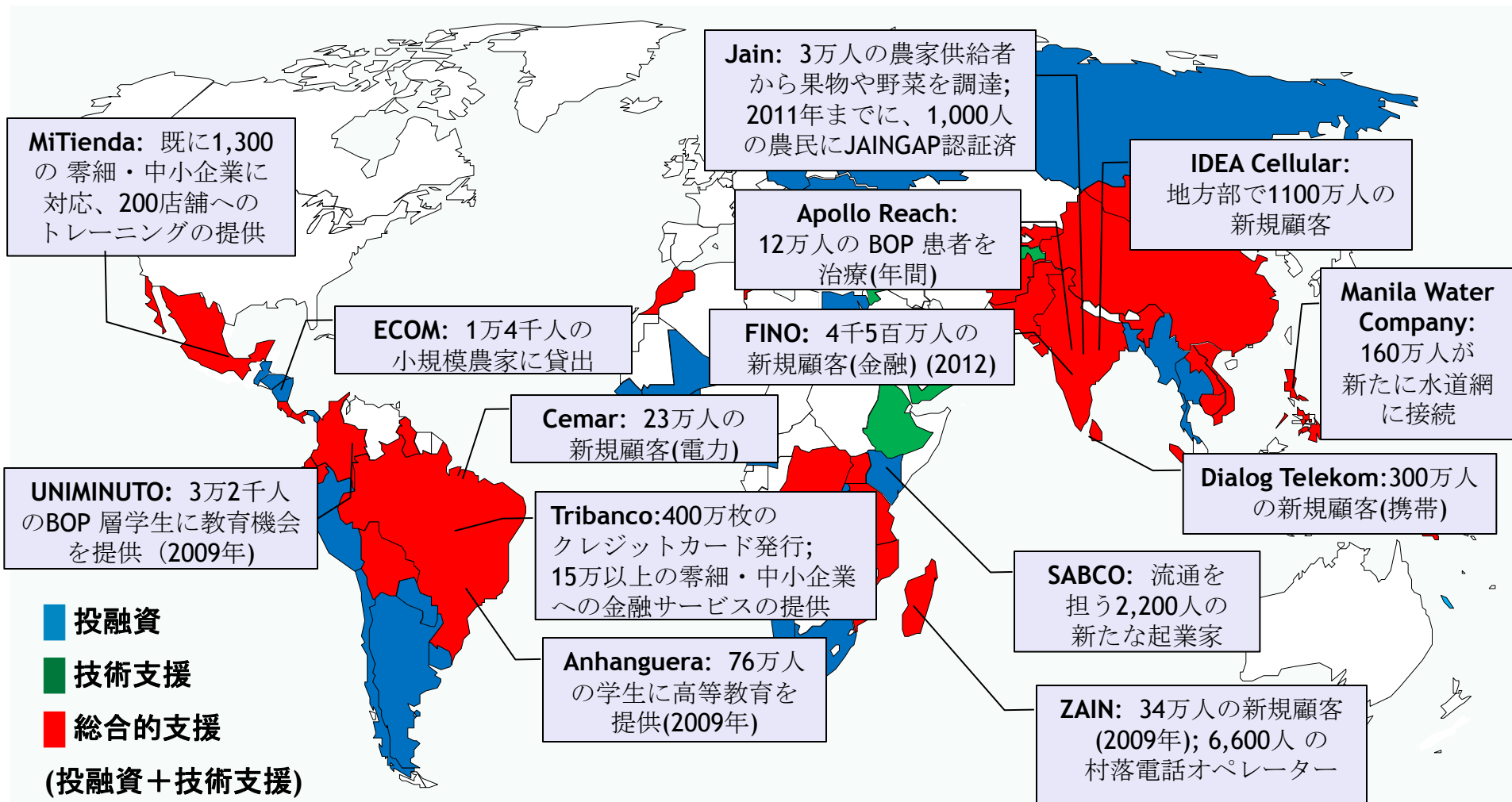
## 産業別インクルーシブ・ビジネス 投融資金額内訳（2011年度）\*



\*注: 初期分析による暫定値

- 2011年度、インクルーシブ・ビジネス案件に約8億ドル（約630億円、IFC投融資総額の7%）を投融資
- 金融業が全体の40%
- 国別では、ラテンアメリカの案件が、全体の約3分の1
- 投資リターン、融資回収共に良好

# インクルーシブ・ビジネス・モデルの事例は多地域・多分野にわたる\*



# 支援対象プロジェクト

IFCでは、様々な金融サービスを行っておりますが、原則として下記の規準を満たしているプロジェクトが投融資の対象となります。

- ①プロジェクトがIFCの加盟国である開発途上国に所在していること  
(日本企業の海外子会社も対象です)
- ②民間セクター向けであること
- ③技術的に健全で、収益性が良好であること
- ④開発効果(現地経済への便益)が見込まれること
- ⑤IFCの環境・社会基準の両方を満たしていること

# IFCの重点分野

最貧国  
フロンティア・マーケット

最貧国や中所得国における低開発地域、復興地域など課題を抱えるマーケットを重点的に支援します

気候変動

気候変動に取り組み、環境面・社会面(E&S)での持続可能性を保証します

インフラ、ヘルスケア、  
教育、食糧供給

インフラ、ヘルスケア、教育、食糧供給分野での民間セクターの拡大を促進します

地場の金融市場

各地域における地場の金融セクターの発展を支援します

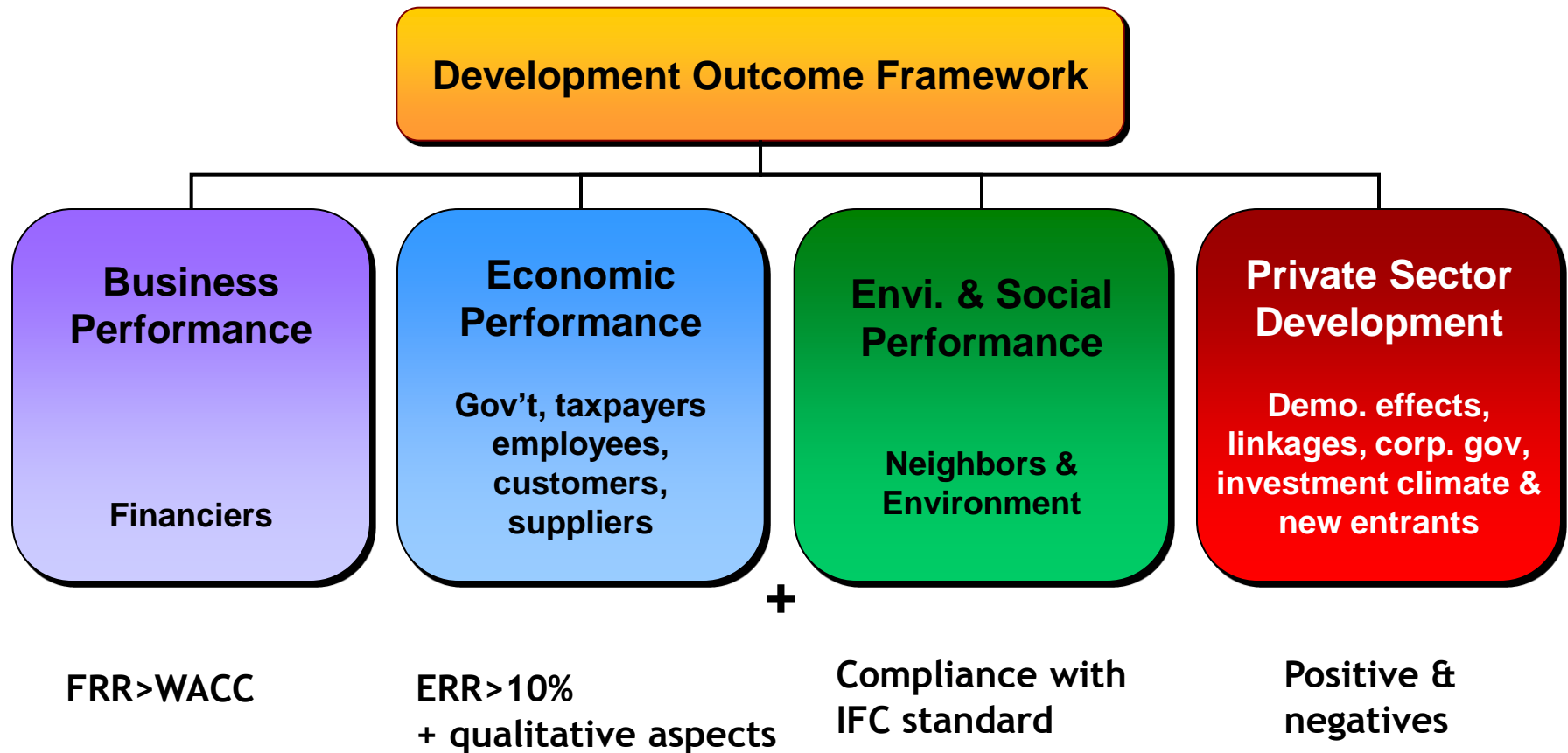
長期的関係

新興国において、顧客との長期的関係の構築に努めます





# 開発効果の測定: Development Outcome Tracking System



- **Development Outcome: Overall effect on country's development**
- **Framework: Derived from Good Practice Standards for Private Sector Evaluation (investments)**
- **Each with specific indicators, benchmarks**

# FY2012 プロジェクト実績及び開発効果

## プロジェクト実績

### 新規投融资契約

新規プロジェクト: 576件

対象国: 103カ国

契約総額: 203億ドル

- IFC自己勘定分: 154億ドル
- 資金動員<sup>1</sup>: 49億ドル

### 契約済みポートフォリオ

総額: 565億ドル

企業数: 1,825社

### 財務実績

純利益<sup>2</sup>: 1,658百万ドル

IDA拠出金: 330百万ドル

## 開発効果

### 投融资

創出した雇用数: 2.5百万人

中小企業(SME)向けローン:  
1,984億ドル / 330万件

### サービス利用者

患者数: 12.2百万人

給水: 34.3百万人

送電: 41.9百万人

生徒・学生数: 0.9百万人

農家: 3.3百万人

電話利用者: 172百万人

1. 協調融資、ストラクチャード・ファイナンス、IFCイニシアチブ、アセットマネジメントを含む
2. IDA拠出前